

## 機械警備業務仕様書（八幡図書館、八幡南分館）

### 1 業務の目的

各図書館の所有または管理にかかわる警備対象物内の財産の保護及び安全の確保に任じ、業務の円滑なる運営に寄与することを目的とする。

### 2 業務の内容

- (1) 図書館の出入り口、窓際等、外部から侵入の恐れがある場所に感知機等を設置するとともに、中央監視装置、防災防犯監視装置（火災報知機等）に連動させ監視を行うものとする。
- (2) 毎月の警備状況を記録し、意見を添えて翌月の5日までに報告するものとする。  
なお、急を要する事故の発生については、口頭若しくは文書をもって各図書館の責任者に報告しなければならない。
- (3) 異常事態確認時における現場での緊急措置と関係先への通報連絡を行うものとする。
- (4) 事故処理報告書を提出するものとする。

### 3 警備方法

機械警備によるアラームシステム

### 4 警備基準時間

- (1) 毎日夜間 18時00分～翌日9時15分
- (2) 職員が勤務を要しない日（月曜日及び年末年始等） 9時15分～18時00分

### 5 警備実施時間

前項の警備基準時間において、警備対象物が無人の状態となり、警報装置警戒開始（セット）の信号を受けたときに警備を開始し、警報装置警戒解除の信号を受けたときに警備を終了する。

### 6 警備仕様

警備装置

- (1) 設置した警報装置から発生した異常事態を管制センターへ自動的に通報する。
- (2) 機器の配置及び種類・数量は、各図書館との協議により決定する。

### 7 管制センター

警戒受信装置を常時監視すると共に、機動隊との連絡を保持する。

### 8 機動隊

管制センターと連絡を保持し、警備対象物の異常事態に備える。

9 異常事態発生時における警備会社の処理

- (1) 警報受信装置により警備対象物に異常事態発生が通報があったとき、警備会社は機動隊を速やかに急行せしめ、異常事態を確認させると共に、事態の拡大防止にあたる。
- (2) 警備対象物に到着した機動隊は、異常事態を確認後、管制センターへその状況を連絡し、管制センターは、必要に応じて関係先へ通報する。
- (3) 必要に応じ、あらかじめ定められた各図書館の責任者または緊急連絡先へ連絡する。

10 事故報告

事故発生の際、警備会社は速やかに各図書館に電話または口頭で報告すると共に、後刻、書面にて報告する。

11 鍵の預託

警備実施に必要な鍵は、各図書館、警備会社で相互に預託し、預託された鍵は、それぞれが厳重に取扱い、保管する。

12 警備装置の保守点検

警備対象物に設置された警報装置の機能については、警備会社の責任において、適宜、保守点検を行うものとする。

13 警備実施報告書

警備会社は、毎月の警備状況を記録し、意見を添えて、翌月の5日までに各図書館に報告書を提出しなければならない。